

# ベトナム医療チャリティー20周年

20<sup>th</sup> anniversary since we started the medical charity work in Viet Num.

気が付くと 満20年になっていた。

1994年12月 聴診器と医薬品を荷物にしよばせて  
単身ベトナムに渡ったあの日から、もうそんな年月が経ったのだ。



1994年12月29日  
レリヘイスリップ  
運営のNPOと会合

1994年  
ダナン無料診療所



1997年 ピースビレッジ診療所



1997年ダナン病院



当時現地で私の診療を支えた 英語ーベトナム語の通訳ボランティアであった医学生・若手医師たちから、次々と現況報告が届いている。  
3都市4病院を独立採算でオープンさせ、立派に軌道に乗せているのみならず、国立病院院長、医学会会長などなど、  
現地の医療を牽引している勇士たちが、  
我がNPOの庭から育っている。

1996年  
ダナン病院



2002年  
ダナン Hoan May 病院



日本から贈ったベッド、医療機、救急車などには、未だに色あせたNPOのシールが  
貼られていて、訪越の度にお互いの繋がり深さを感じさせて頂く。



2001年 眼科病院



2003年 ホーチミン脳外科病院



2002年 ダナン病院移転記念植樹

又、我がNPOと姉妹関係のNPOを現地で立ち上げられ、孤児院他福祉施設を立派に運営されていらっしゃる方々、  
政府機関のトップとして日越の架け橋になっている方々、等等もしきりと我々の訪越を促される。



1996年 京都チャリティー会議



人民委員会



2002年 ハオマイ孤児院

欧米のNPOからは ベトナム現地及び世界各地で共に活動する日程を知らせてくる。



1994年 レリヘイスリップ生家前



1996年 オリバーストーン ベトナム戦争映画登場人物たち

1995年6月25日  
読売新聞



我が国内の若者たちの活躍もめざましい。

NPO訪越団の一員として 現地で多くの事を学んだ若者たちが、続々と医師・医療職になり、今や各地で中堅専門職に成長している。  
ベトナムで開催された日本映画祭では翻訳者として名前が出ている青年は、アジアと日本を繋ぐ仕事に奔走している。

それぞれが各々の現場で第一人者となり、多くの患者さん、困窮者たちの支えになり、  
有意義な人生を送っている事が伝わって来るメールを受け取り、励まされている。

1995年  
国際NPO懇親会



世界の情勢が変わり、日本もゆっくりではあるが、  
人権を守り、文化芸術を発展させる世界の流れに乗り始めている事を実感する。

具体的に 開発途上国の患者さんたちとつながる事で、  
日本の動きを客観的に感じられる立場に立てた事が有難い。

後継者たちの成長で、この活動が未永く継続される予感がある。



1997年 日本の医療施設を  
ベトナム厚生局長たちと視察



2000年  
レリのホーチミン事務所開設祝